

第72回「社会を明るくする運動」 調布市意見発表会 意見発表文

学校名	調布市立第四中学校
代表者氏名	岡本 碧生（おかもと あおい）
学年	2年
題名	コミュニケーションで社会をつつむ
本文	
<p>最近いじめによって児童・生徒が自殺する悲しいニュースが後を絶ちません。文部科学省によると令和2年はいじめを原因とする児童・生徒の自殺が四一五人と調査開始以降最多となりました。これは前年度に比べ一〇〇人近く増加しています。一方で、平成二九年版犯罪白書によると、少年の犯罪件数自体は昭和五〇年代後半から現在にかけて減少傾向にあります。つまり、犯罪件数自体は減少傾向が続いているにも関わらず、いじめを原因とする自殺者が増え続けているのです。</p> <p>なぜこのようなことが起きるのでしょうか。いじめの手段が暴力や喝上げなどの目に見える犯罪から特定の人物を省いたり無視したりするなど孤立させる行為や、SNSでの誹謗中傷など犯罪として検挙されない手段に変化しているためだと考えます。それが自殺者数の増加の原因でもあります。表面化されにくいいじめになっている中、私は普段の何気ないコミュニケーションを振り返ることが大切であると考えます。</p>	

私が小学校のとき、クラスで特定の一人（仮に A さん）を普段の生活の中での無視や仲間はずれにしたことがありました。それは、暴力を振るったりするなど目に見える形ではなく表面化されにくいものでした。

なぜそんなことになったか思い返してみても、そもそもきっかけとなる出来事はありませんでした。ただ、普段の生活の中で A さんが間違いを指摘されるたびに怒ってしまうなどの行動があり誰かが中心と言うわけでもないけれどだんだんとクラスメイトが A さんから離れていきました。そして、表面化されにくい内容だったこともあり、気づけば前述したような状況になっていました。そのような状況で私は A さんと普段の何気ない関わりの中で揉めてしまいました。その揉め事自体は小さなことだったためすぐに解決したものの、クラスの中でこの出来事がうわさとなって広がってしまいました。結果、A さんとクラスの溝をさらに深めてしまいました。当時、私は悪口を言う人に便乗してしまいました。その時は「A さんが悪いから仕方がない」と思っていました。だからこそ、そうした中で A さんへの無視や仲間外れが深刻化したのだと思います。そして、ついに先生に話が伝わり、クラスで何度も話し合いました。しかし、そのときは両者の溝は埋まりませんでした。いま改めて解決のためにどうすべきだったか考えてみました。状況が悪化した原因は三つあると考えます。

一つめは、私たちは、自分たちがしていることが「正しい」、「理由がある」

とっていたことです。原因は A さんにあると思いきや、こんでしまっていました。

二つめは、私たちも、A さんとともに感情的になってしまったことです。先生は話し合いの機会を何度も設けてくださいましたが、お互いに自分を正当化することしか考えずに公平な議論ができませんでした。

三つめは、先生が話し合いをする場面を設けてくださったものの、双方の意見が先生にきちんと伝わらなかったということです。これらの三つの原因で共通しているのが、コミュニケーション不足です。公平な話し合いができなかったときに揉めた当事者である私が A さんとコミュニケーションを取り、距離を詰めていけばさらなる状況の悪化はなかったのですが、一回も自ら話すことができませんでした。

あのとき、A さんはどう感じていたのでしょうか。もしかしたら、「いじめられている」と思っていたかもしれません。私いじめで誰かが傷つき苦しむような社会を変えたいです。また今回この作文により明るい社会へと繋がれたら嬉しいです。いじめを防ぎ、明るい社会を作るためには、日頃のコミュニケーションの積み重ねが大切です。私がたいけんしたこと、普段のコミュニケーション不足が主な原因で起こってしまったことでした。

みなさんは普段、誰とよく話すでしょうか。友達、家族、先生、先輩などを思い浮かべると思います。そういった日常での何気ない会話を今一度振り

返ってほしいです。言葉が足らずに喧嘩や誤解を招いてしまったことはあります。より良い関係を作るためにはコミュニケーションをこまめにするなどの取り組みを自分の中で行うことが大切です。

男女差別や外国人への偏見、思い込みでも同じことが言えます。「女性は引っ込み思案だから話せない」という偏見がありますが、話すことによって、お互いの見方を伝え合い自分も相手の思考に気づき、偏見をなくすことができます。また、「外国人は話してもうまく伝わらない。だから何となく避けてしまう」という思い込みも同様です。学習した英語を使い、勇気を出して話してみましょう。英語ができなくても、ジェスチャーでも伝えることができます。

偏見や思い込みを捨て、コミュニケーションを積極的に取ることで社会の差別思い込み、表面化されにくいいいじめが減り、社会に暖かい風が吹くと考えます。そのため、普段からコミュニケーションを大切に、また多くの人と接する機会を今以上に大切にしてみてもいいでしょうか。